

◇ 「カブ隊のかん板作り」

春日井第2団カブ隊
吉田 快生

少年自然の家で、かん板作りをしたことが思い出に残っています。

材料はすべて木。その木で、「隊」という文字を作りました。こざとへんがむずかしかったです。でも、ボンドでくっつけて、針でうったので、がんじょうでした。なぜ思い出に残ったかというとう工が好きだったからです。



◇ 「頑張った春2フェス」

春日井第2団カブ隊
渡邊 琉那

この一年間の活動を通して私が楽しかったのは春2フェスです。

バスケットのゴールを頑張って作りました。みんながバスケットのゲームを楽しんでくれて良かったです。

他の隊のゲームも頑張って挑戦しました。難しかったのはボーイ隊の水鉄砲です。ペットボトルにあてましたが1本も倒せませんでした。班のリーダーは、何本も倒してすごかったです!! 初めて参加した春2フェス。頑張った春2フェス。すごく楽しくて、良い思い出になりました!

◇ 「カブ隊で楽しかったこと」

春日井第2団カブ隊
大矢優生

ここ2年は、コロナ下で、活動が制限されていましたが、でも何度か、野外で活動ができたときは、ひときわ嬉しかったです。

くまキャンプでは、ボーイ隊と一緒に活動できました。ペットボトルの中に石や砂を入れて水のフィルターを作りました。外で食べた料理も、特別に美味しかったです。

地球村でのキャンプでは、昼間はとても暑かったのに、夕方になって突然雷雨となって、僕たちのいる場所の近くに雷が落ちたこともありました。結構怖かったです。生きてよかったと思いました。あの時はヒヤヒヤしましたが、今思うと貴重な体験でした。

最近では、白山神社・円福寺にまつわる人魚伝説を調査するイベントがありました。神社やお寺にある木や石像を見て、思ったことをコメントする課題がありました。その時僕は、石像や木の気持ちになって「呪われた最強の勇者たち」とか「石像にされた進撃の巨人」といったタイトルをつけました。すごいでしょ、僕のネーミングセンス。いろいろな想像ができて、とても楽しかったです。

全部のイベントで、隊の仲間とともに、ワイワイと楽しく活動できました。いい思い出になりました。



◇「楽しかったいもほり」

春日井第2団カブ隊
佐藤 友明

ぼくが、カブ活動で楽しかったことは、さつまいもほりです。かぼちゃみたいに、大きくて、丸い形のいもが出てきて、びっくりしました。友達と、とった数をきそいあいながらやったのが楽しかったです。

たくさんとると、達成感があって、とてもうれしくなりました。
来年もまたやりたいと思いました。



◇「春2フェス」

春日井第2団ローバースカウト
佐藤優真

2022年、年が明けた頃の晴れた日、春日井第2団で執り行われた団行事「春2フェス」。中心となって運営したのは私たちローバースカウトでした。

これまでの活動の中で、大きく成長してきたローバースカウト。私も団ではボーイ隊の副長を務めながら、様々な場で活動しています。ボーイスカウト運動の集大成、そんなローバースカウトの姿を保護者の方々に見てもらいたいという思いによって、この団行事は実現しました。

この春2フェスでは、スカウトがゲームの屋台を、保護者が食事の屋台を催しました。私は食事部の部長として、団の指導者や団委員の皆さんと一緒に取り組みました。

これまでは他のローバースカウトと一緒に活動することが当たり前で、大人中心の実行委員会という環境も、ローバースカウトとして保護者の方々と関わることも、私にとっては新鮮でした。学びと引き換えに苦しい体験もしましたが、春2フェス当日にスカウト達の笑顔を見て「ああまたやりたいな」と思えたことは今でもはっきりと残っています。



◇「春2フェスを行って」

春日井第2団ローバースカウト
大島彩加

今回春 2 フェスを行おうと思ったきっかけは自分がボーイ隊の時にローバーの方がやってくださった屋台の企画がすごく印象に残っていて、いつかまたやりたいと思い企画を立てました。

またコロナでしばらく団行事を行えていなかったのも、皆と対面で行えたらなと思ったからです。

私はプログラム部の部長を担当し、全体の計画から食事面との連携、各隊への依頼、担当の振り分けを行いました。今まで団が主催する行事の一部を任されるが多かったのですが、今回は自分たちが実行委員をまとめなければならず、右も左も分からない状態から始まりました。目的目標が皆に伝わらず路線がずれたり、戸惑うことばかりの中、日にちが迫り大変な日々でした。

また、コロナ禍ということもあり時短を指摘され、当日の朝にプログラムを前後し調整が大変でしたが、ローバーの連携によりスムーズに進めることができ、スカウトたちからも『楽しかった～』と言う声が沢山聞けてやって良かったと感じました。改めて、ローバーの臨機応変に対応できた事を褒めたいです。

そして直前まで関わって頂いた各隊長そして今回の企画に賛同して各隊の皆さん団関係者の方に感謝の気持ちでいっぱいです。

春 2 フェスを通して、色々な考え方を持っている人がいる中で一緒に大きな行事を作り上げる大変さを知りました。今回の経験を活かし、来年度もローバーが中心となった楽しい企画を考え実行していきたいです。



◇「各隊活動の紹介」

江南第1団
団委員長 石黒 雅之

各隊の12月と1月の活動を紹介します。コロナウィルス第6波で1年半ばかり対面での活動を休止するなど、スカウトたちには窮屈な思いをさせています。一日も早く、思いっきり活動ができるようになってほしいと願っています。

12月『ボーイ隊サイクリング』

江南から三重県の宇賀溪キャンプ場まで、一泊二日、片道約65キロのサイクリングを行いました。江南3団さんと合同です。

寒い季節のサイクリング&キャンプ。小6のスカウトには初めての体験ですが、元気に走り切りました。



12月『ビーバー隊たんけん』



フラワーパーク江南で自然探検をしました。
寒い日でしたがスカウトたちは元気いっぱい。
リーダーを観察するゲーム、楽器演奏、糸電話なども楽しみました。

12月『カブ隊折りたたみ椅子工作』

修得課目のひとつ「工作」をクリアするため折りたたみ椅子を製作しました。
寸法を測って材木を切ったり、ドライバーでネジを締めたり、カブには少し難しい工作でしたが頑張って完成させました。



12月『ボーイ隊班旅行』

スカウトが計画を立てスカウトだけで行く班旅行。今回の目的地は大阪天王寺。
青春18きっぷでJR在来線を乗り継いで行った片道約3時間の旅は、楽しく、達成感が得られた活動だったようです。



1月『ベンチャー隊ピザ作り』

ダンボールのピザ窯を作ってパーティです。
ピザを食べるまでの過程を楽しんでいます。
こういう経験を積み重ねることで創造力や災害時などに役立つスキルが身につけて行くのだと思います。



1月『ビーバー隊お正月あそび』

テレビゲームも楽しいけれど、伝統的な遊びの楽しさも知ってほしいということで、かるたや福笑いなど昔からのお正月遊びを楽しみました。



◇「コロナ禍での最近の活動」パート1

春日井第8団 BVS隊長
小林 香織

今日はBVS隊+CS隊合同活動です。急遽予定を変更して雪遊びをしました。したが、雪だるまを作って、雪原を転がって、木を揺らして雪を降らせ、最後はかまくらを作ってぎゅうぎゅうに入りました。今日も楽しく遊べました。



◇「一年を振り返って」

春日井第8団 カブ隊 しか
黒木 菜帆

今年はコロナの影響で、急に中止になる活動も多く、内容が変更になることも有りました。そんな中でも、私が一番印象に残っている活動が、11月にやった芋ほりです。芋ほりは、団の人が植えて育ててくれたさつまいものツルをカットして、一生懸命スコップを使って掘っていくと、一個だと思っていたら二個三個とたくさん出てきたので、それが楽しかったです。細長い芋から、丸い芋まで、いろいろな形の芋取れました。とれた芋は、家に持って帰って焼き芋にして食べたらとても甘くて、美味しかったです。

◇「コロナ禍での最近の活動」パート-2

春日井第8団 BVS隊長
小林 香織

今日は今年度最後のBVS隊活動でした。インストラクターをお招きして、多肉植物の寄せ植えを行いました。作った寄せ植えは、団員さんに作品の評価を頂きました。どれも個性豊かで、全部「優秀作品」でした。今のメンバーでの活動は今日が最後ですが、これからも仲良く楽しく活動していきましょう



他にも、少年自然の家での舎営では、夜ご飯のシチューや、朝ごはんのハンバーガーを作ったり、火おこしをしたりして、とても楽しかったです。特に火おこしでは、なかなか火がつかず大変だったけど、火をおこすことの難しさが学べました。

今年はチャレンジがあまりできなかったので来年は、二か月に一個は取れるように頑張りたいです



◇「カブスカウトの思い出」

春日井第8団 カブ隊 月の輪
村瀬 来希

ぼくは、この三年間で色々な事をやり、学ぶ事が出来ました。心に残る出来事は、春日井少年自然家でおとまりをした事です。みんなとごはんを作ったり、たくさんしゃべったりして仲よくなれたからです。とても楽しかったです。



もう一つは、わりばしでてっぽうを作った

事です。ぼくはなにかを作る事がだいすきなので、この活動はとても楽しかったです。まだまだいっぱいありますが、この三年間でたくさん事を学び、色々な事を経験することができました。この経験をいかして、ボーイスカウトでもがんばりたいと思います。

◇「一年間を振り返って」

春日井第8団 団委員長
村瀬 行雄

令和3年度も新型コロナ（変異株）感染症対策により、新年度早々緊急事態宣言が発出され、その後も幾度となく緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の発出、延長そして解除が繰り返された1年でありました。

そんな中、計画した団の年間プログラム、各隊の年間プログラムも幾度となく計画倒れをし、リーダー・スカウト、関係者共々やるせない気持ちが度重なったであろうと考えております。

しかしながら、合間をぬって昨年末開催した一般向け団行事「ワクワク自然体験あそび」は、自然体験に関心のある多数の一般保護者・児童の参加を得て、いろいろな反省点はあるものの8団関係者の誠意と努力で、結果的には成功裡に終了したと判断しています。今後は参加者の継続的フォローアップと、次年度以降も機会があれば継続開催をして行き、結果的にスカウト増員に繋がればと考えております。





0:00～2:00 までの時間です。深夜に火の面倒を見るのはテンションが上がりました。また木工では、まな板、スプーン、机など必要なものを色々を作りました。

とにかく自然しかなかったので、栗拾い、たけのこ採り、お米作り、野菜作り、山登り、川遊び、など色々な事を体験しました。

◇「山村留学 1年間の思い出」

瀬戸第6団カブ隊
岡田 芙佳

私は2020年度(小学4年生)の1年間、長野県にある『暮らしの学校だいだらぼっち』に山村留学に行きました。だいだらぼちは子供20人と大人で暮らす大家族です。

山村留学に行くことを決めた理由は、山賊キャンプという50人ほどの知らない人達と1週間を過ごすキャンプで、もっと長く過ごしたいと思った事がキッカケでした。

だいだらぼちでの暮らしは、思っていた以上に大変でした。家ではボタン一つで沸いたお風呂は、なんと薪で沸かしました。日本一大きいと言われる互衛門風呂を使っていたので雨の日も雪の日も毎日なので本当に大変。その薪も自分達で山から切り出し、薪割りをして用意します。みんなで過ごす大広間には大きな薪ストーブがあり、薪の暖かさの良さも知りました。そして薪が燃えた後の灰は、釉薬になります、例えばリンゴ木の灰は水色に焼きあがるなど灰によって色が違います。

だいだらぼちでは、生活で足りないものは自分達で作ります。自分で作った釉薬で焼いた焼き物は、それだけ満足度も大きいです。年に2回、登り窯で作品を焼く機会があり、金土日と寝ないで3日かけてみんなで仕上げます。1チーム2時間で交代です。私が好きな時間は、20:00～0:00 までの時間と

生活の中で1番大変だったことは朝起きてから学校に行くまでの時間です。朝食当番は5:30 それ以外の方は6:30 起床です。そこからの掃除をして洗濯物を干して、朝ご飯を食べ学校に行くというスケジュールをこなすことです。また2番目に大変だったことは話し合いです。だいだらぼちでは、自分たちで予定を決めて過ごすので、必要なことはみんな話合いました。

とにかく色々な事にチャレンジする！という目標の中で、何事にも積極的にチャレンジしました。1年間の暮らしの中で、楽しい事、辛い事、悲しい事、うれしい事、たくさんの事があったけど、その中で考えた事や感じた事は私の一生の宝物です。

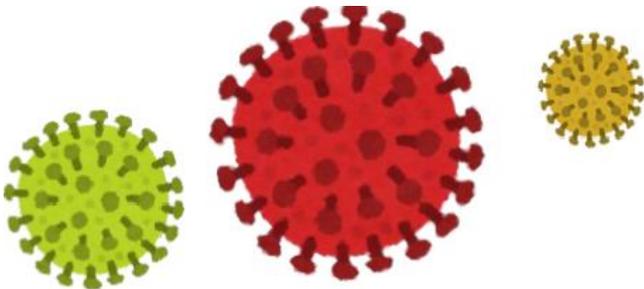


新型コロナウイルス感染に注意

新型コロナに関する注意喚起です。各部門へのスカウト活動中における感染対策について注意喚を強くお願いを致します。

まん延防止が解除されましたが、昨今の感染状況を見ると増加傾向にある現状です。各市町村別の感染者も高止まり傾向であり、依然として幼稚園、小学校、中学校での感染が散見されています。

今一度、各隊においては感染対策を徹底し感染防止に留意した集会をお願い致します。C Sの舎営、B S以上に宿泊と飲食を伴う活動については、十分な配慮の基実施をお願いしてください。



コロナウイルスやっつけるぞ
☆ 石鹸をつけて手を洗いましょう
☆ 咳が出るときはマスク着用
☆ 風邪を引いたら家で休む

不要不急の旅行や帰省など県外への移動の自粛をお願いします

感染再拡大の防止に向け、出来る限りの対策をとり活動しましょう

《編集者より》

記事投稿ありがとうございました。
コロナの影響により、活動が制限され「はやぶさ」の発行にも影響がでています。新たな株におきかわり、感染者も増加傾向です、出来る限りの対策を取り活動しましょう。次回も予定通り発行できることを期待して、楽しい記事をお待ちしています

次回は7月末締め切りです。
担当は B グループ 大口1 江南3 瀬戸1 日進2 小牧1 春日井4 春日井10です。